

第31号

大志連区 地域づくり協議会だより

発行日:令和元年7月1日 発行者:大志連区地域づくり協議会(会長:木村富雄 090-1832-9029)
http://blog.goo.ne.jp/a1384chidukyo 一宮市のHPにも掲載中
地域づくり協議会専用事務室:大志公民館(大江3-9-14)2F 料理実習室内 FAX:0586-24-5206
常駐予定(木村):毎週月曜日午後1時半~5時半、毎週木曜日午後5~8時 138daishi.chiiki@gmail.com

5月11日 自主防災リーダー会全体会 開催



5月11日(土)第1回自主防災リーダー会全体会が開催されました。メンバーが、総務・情報班、避難誘導班・受付班、食料・物資班、施設管理班、保健・衛生班に分かれ、大規模災害時の活動内容を検討し、大志版の避難所運営マニュアル作成を確認しました。早速各班に分かれて、課題や問題点等を出し合いました。次のような意見が出ました。

どのような備品、設備があるのか。使用方法を事前に体験したい。

施設の安全点検、開錠は誰がするのか。費用など、行政の援助はあるのか。

受付前の、運動場でのトリアージを、スピード感を持って行う必要がある。

それぞれの町内でトリアージが行われないと、混乱時の運動場でのトリアージは、大変である。



避難所は200人ぐらいいしか収容できないので、各町内会での絞り込みが大切である。

マンションの方が安全である。自宅での避難の場合、食料等の配給はあるのか。

今のメンバーのどれくらいが実際の場合に来られるのか。

避難困難な人々にどのように対処するのか。

今年度の自主防災リーダー会は、これらの様々な課題や問題を検討し、より実情に合った大志版の避難所運営マニュアル作成をめざしていきます。

※トリアージ:避難所へ行く人、自宅に戻る人、病院へ行く人等の人の振り分け

※避難所:災害が一段落した後、自宅に住めない等の市民が一定期間生活するための施設

※避難場所:地震や大規模な火災が発生した時に、周囲の建物や建築物の倒壊から身を守るためや、延焼による二次災害から身を守るために緊急避難する場所

<地域づくり協議会の動き> ・ ・ 防災、提案事業

- ・ 自主防災リーダー会役員で大志小防災備蓄倉庫の下見を市と行いました(5/28)。
- ・ 3年後実施の提案事業(予算175万円)の調査開始(先行15連区を参考)



<7月の予定>

- 「公民館:インディアカ教室」7/11・18・25(木)19:00/大志小学校
- 「町会長会:交通安全活動」7/12・26(金)7:45、7/16(火)7:30
- 「社協大志支会:微笑みさわやか体操」7/12・26(金)大志公民館
- 「地域づくり協議会:部会員役員合同会議」7/13(土)17:30/大志公民館
- 「公民館:親子で楽しい野菜づくり」7/14(日)8:00/笹野第一農園
- 「高齢者生きがい:教養講座(全12回)」7/16(火)・24・31(水)/大志公民館
- 「小学校:1学期終業式」7/19(金) 7/20(土)~8/31(土)夏休み

5月11日 児童福祉大会 開催 児童育成協議会（子ども会）の皆さん 大活躍

5月11日（土）大志小学校運動場において、『児童福祉大会』が行われました。「その気持ち誰かを笑顔にさせる種」今年度、児童福祉週間の最優秀標語です。この標語のように、子どもたちの健やかな成長を願い、各町内子ども会の皆さんが、運営に、演技に、応援に大活躍されていました。親も子も、笑顔いっぱいの半日でした。



【気持ちをあわせて「親子運動会宣誓」】



【笑顔いっぱい「ドキドキ風船運び」】



【心をひとつ輪の中に「親子でフラフープ」】



【元気いっぱい「七転び八起き」】

大志少年野球Bチーム 準優勝！ 一宮市民学童大会

大志少年野球クラブのB（5年以下）チームは、5年生がたった一人、あとはすべて3,4年生というハンデを抱えながら、一宮市民学童大会において決勝進出。しかし、初回の3失点が大きく響き、終盤1点差まで詰め寄るも、最後は突き放され、強豪木曽川JBCにタイトルを譲ることとなりました。キャプテン阿南大雅君は、一人で投げきったことに自信を深めながらも、以下のように悔しい感想を残しました。



「ぼくたちは、決勝で木曽川JBCに負けてしまって、とてもくやしかったです。この試合で負けてしまった理由は、守備の基本であるキャッチボールにミスが出たからだと思うので、夏の大会までにキャッチボールをしっかりと練習して、次は優勝したいです。」